



2019年度日本語教育学会秋季大会（くにびきメッセ）

チャレンジ支援企画 - 「わかば」なあなたに -

チャレンジ支援委員会では、2016年度より大会会場で「わかば」なあなたが参加できる各種プログラムを用意しております。ぜひご参加ください！



🌱「わかば」なあなたとは…（非会員も大歓迎）🌱

- * 日本語教育を学ぶ大学生・大学院生の方
- * 日本語教育に関わり始めたばかりの方
- * 日本語教育の経験は長いけど、研究を始めたばかりの方、研究をやってみいたい方など…

🌱わかば・コンシェルジュ🌱

11月23日(土) 12:00~17:00 / 24日(日) 8:45~14:00 於:1階多目的ホール前

「どこでどんな発表をしているの?」「どこに行けばいい?」など、「わかば」なあなたの素朴な疑問になんでもお答えします。お気軽にお立ち寄りください。大会参加記念に写真撮影も可能です！

🌱わかばさんいらっしゃい🌱

11月23日(土) 12:10~12:55 於:4階401会議室

「わかば」なあなた向けに大会の内容をダイジェストでご紹介するオリエンテーション。開会式会場までご案内もします！昼食持参でぜひお越しください。

🌱ぶらさ da わかば🌱

11月24日(日) 12:10~13:20 於:4階401会議室

皆さんの少し先を歩いている「センパイ」と出会い、研究や実践、キャリアの相談など、一対一で40分間、自由に対話してみませんか。当日11月24日(日)午前9時に1階多目的ホール前の大会受付横の「わかば・コンシェルジュ」で申し込みを受け付けます。先着順ではなく、午前9時に集まった方で抽選を行います。午前9時の時点で全員埋まらない場合は引き続き開始時間まで受け付けます。今回の定員は13名です。センパイの詳細については、次ページをご覧ください。

【問合先】公益社団法人日本語教育学会 チャレンジ支援委員会 E-mail:challenge@nkg.or.jp
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館 2F TEL:03-3262-4291

🌱最新情報は、日本語教育学会ウェブサイト、twitter (@NKGkouhou)、Facebook で！🌱



《日時》2019年11月24日(日)12:10~13:20 《会場》島根県松江市 くにびきメッセ(秋季大会会場)
 《申込》当日11月24日(日)午前9時に1階多目的ホール前の大会受付横「わかば・コンシェルジュ」で申し込みを受け付けます。先着順ではなく、午前9時に集まった方で抽選を行います。今回の定員は13名です。

お名前・ご所属(敬称略)		プロフィール
1	いけだれいこ 池田玲子 鳥取大学	日本語教育の協働学習(ピア・ラーニング)について、授業実践とその研究をしてきました。最近、ピア・ラーニングによるビジネス日本語コミュニケーション教育としての「ケース学習」の開発に取り組んでいます。
2	いしざわとおる 石澤 徹 東京外国語大学	大学進学前の予備教育で日本語を担当しており、養成講座や本務校での教師教育にも携わっています。特に関心があるのは、語彙や音声の学習・習得とその教育です。昨年、学術共通基本語彙を学ぶための語彙学習教材を出版しました。
3	いぬかいやすひろ 犬飼康弘 ひろしま国際 センター	地域国際化協会に所属し、県・企業・国内外の大学等、様々な機関からの依頼に基づく日本語教育に携わっています。また、地域日本語教育にも関わっており、多文化共生の地域づくりという観点から日本語教室について模索しています。
4	おくだじゅんこ 奥田純子 コミュニカ学院	ひよんなことから日本語教育に関わるようになり、1988年にコミュニカ学院(神戸市)を設立しました。今の関心事は、異文化コミュニケーション、ビジネス日本語、教師教育、学習者オートノミー、読解系教材の作成です。
5	きむひよぎょん 金孝 卿 早稲田大学	第二外国語として日本語と出会い、日本の大学院で日本語教育学を学びました。国際交流基金での教師研修及び日本語教育支援の経験を経て、今は大学で留学生教育に携わっています。協働学習(ピアラーニング)に関心を持ち実践研究を行っています。
6	こばやしあきこ 小林明子 島根県立大学	国内では日本語学校や地域の日本語教室で、海外ではニュージーランドの大学生に教えた経験があります。現在は大学で留学生に日本語を教えながら、動機づけや内容言語統合型学習(CLIL)について興味を持って研究しています。
7	しんやまきこ 新矢麻紀子 大阪産業大学	「生活者としての外国人」、特に外国人女性のリテラシー保障と社会参加を目指して、仲間と漢字教室の開催、教材作成、人材養成、調査をしています。最近、大学生と外国ルーツの子どもとの活動づくりにもチャレンジしています。
8	すなかわゆういち 砂川裕一 国際交流基金 日本語国際センター	子供の頃SFに夢中になり、大学では物理学から哲学に転じました。同時に日本語日本事情教育にも門前の小僧のように触れる機会があり、今は「言語・社会・文化の統括的な教育実践の理論化」という表現に内実を与えたいと考えています。
9	はまだまり 浜田麻里 京都教育大学	国際交流基金、大学留学生センターを経て現職。外国人児童生徒等教育について教員養成課程の学生や学校の先生方を対象とした授業・研修を担当しています。ここ数年は行政への政策提言にも関わっています。
10	みやざきさちえ 宮崎幸江 上智大学 短期大学部	社会人経験後、日本語教師養成コースで学び日本語学校で教えた後、渡米、TESOL及び社会言語学を学びました。日本と米国の大学で日本語を教えた経験があります。現在は、日本に住む外国人の子どもバイリンガリズムを研究しています。
11	みやながあいこ 宮永愛子 山口大学	地方の国立大学で、留学生に日本語を教えています。現在の研究分野は、談話分析、日本語と他言語との対照研究です。小学生の息子2人の子育て真っ最中です。研究・教育活動と育児の両立の相談なども歓迎です。
12	よしのがみおこ 義永美央子 大阪大学	法学部在学中に日本語教師養成講座を受講、その後大学院で学び、今は大学で働いています。最近の興味はオートノミーと自律学習支援。親の看護や育児などの経験から、日本語教師のキャリア構築やワークライフバランスにも関心があります。
13	りきょうえん 李 曉燕 九州大学	中国で日本語を学び、中国と日本の大学で日本語を教えました。第二言語習得における暗黙知の共有や活動型教室における多文化グループワークなどについて興味関心があります。研究は「楽しくしないと続かない」と信じています。